

試行方法案に係る会派意見の調査票集計結果①(常任委員会の充実について)

【試行方法案】

◎議案等審査の流れと発言方法を、次のとおり見直す

- ① 執行部(議員発議の場合は提案会派)からの議案説明
- ② 質疑のみの発言
- ③ 討論(賛否表明・意見要望)の発言
- ④ 採決

会派名	回答区分	確認事項・修正意見
自由民主党	確認事項・修正意見あり	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議で行っている討論と委員会で試行する討論の性質の違いを明確に示して欲しい。 ・委員長による議事整理の想定ケース・案を示して欲しい。
立憲民主・無所属	試行方法案どおりで特に問題なし	<ul style="list-style-type: none"> ・委員間討議について検討を希望する。他都市の市議会で行われている事例等を調査して採用することも検討されたい。 ・執行部からの議員に対しての反問をできるよう検討されたい。
公明党	確認事項・修正意見あり	<ul style="list-style-type: none"> ・議事の進行を細分化することになり、時間がより長くなることや、おそらく意見表明が③の3分では収まらないことや、②の質疑をしながら意見表明をする委員に対して委員長が制するか否かの難しい判断を迫られることが多くなることを危惧することから、あえて変えなくても良いのではないかと考える。
共産党	確認事項・修正意見あり	<ul style="list-style-type: none"> ・今までどおりで問題ないので行う必要ない。 ・議案全てで行う場合の議事が混乱するおそれあり。
日本維新の会・無所属の会	確認事項・修正意見あり	<ul style="list-style-type: none"> ・議案説明の後、それぞれに発言を分けるとありましたが、質疑の中には意見や要望的な発言も含まれてしまうこともありうるので、質疑、賛否表明、意見要望は分けずに今まで通りに行い、発言がダラダラ長いので、一般質問と同様1人20分に制限する。 ・新たに議員間討論時間を設け、執行部と発言議員だけのやり取りではなく、議員間同士の討論を加える。委員長の議事進行も重要になり闊達な委員会になるような立付けにする。 ・日程は1日か2日が妥当。